



関連病院実習カリキュラム（外科 2 週間）

病院名：碧南市民病院

診療科：外科

期間：2 週間

実習管理責任者：杉浦誠治

カリキュラム責任者：亀岡伸樹

実習指導医：亀岡伸樹、長野郁夫、金澤英俊、木村賢哉、佐藤太一

1 実習目標

一般目標：

臨床医としての基礎を築くために、外科学診断と治療に必要な基礎的知識と問題解決方法、基本的技能及び他の医療従事者との協調性や臨床医に必要な態度や価値観を身につける。

行動目標：

- ① 患者及び家族と良好な人間関係を確立する。
- ② 望ましい面接技法と系統的問診法を用いて、正確で十分な病歴採取ができる。
- ③ 系統的診察により全身の身体、精神所見を得ることができる。
- ④ 電子カルテに記載されている基本的検査の結果を解釈できる。
- ⑤ 得られた情報を整理し、P O S の形式に従って適切な診断、治療、教育計画を立て、電子カルテに記載できる。
- ⑥ 症例を適切に要約し、場面に応じた呈示ができる。
- ⑧ 他職種の医療スタッフとも協調、協力し、的確に情報を交換して問題に対処できる。

2 実習方略（実習方法）

常時 2 ～ 3 名の患者を担当する。

(1) 手術室実習（手術手洗い、手術助手として手術見学）

受持ち患者の手術に助手として参加し手術を見学する。

(2) 病棟実習（病棟回診、入院患者処置）

入院受持ち患者の診察は毎日行い、診察内容を電子カルテに記載する。

ベッドサイドで行われる基本手技は、一定の範囲であれば指導医のもと自ら行う。

毎日就業時に診察内容、電子カルテ記載の内容のチェックを指導医から受ける。

(3) 外来実習（外科外来、救急外来）

外科外来において、新来患者の予診をとり、電子カルテに記載する。

自分が予診を取った患者の診察を見学する。この際、患者の同意が得られれば、指導医の元で自ら診察を行う。

外科系救急患者が来院した場合、救急患者の診察処置を、一定の範囲内で指導医のもとで自ら行う。

(4) カンファレンス

医療チームのカンファレンスに参加して、検査や治療計画の立案に参加する。

月曜日	AM 8 : 30 ~ AM 8 : 45	症例検討会
	PM 4 : 00 ~	入院患者症例検討会
火曜日	AM 8 : 30 ~ AM 8 : 45	症例検討会
水曜日	AM 8 : 00 ~ AM 8 : 30	抄読会
	AM 8 : 30 ~ AM 8 : 45	症例検討会
木曜日	AM 8 : 30 ~ AM 8 : 45	症例検討会
	PM 4 : 00 ~	内科外科症例検討会
金曜日	AM 8 : 30 ~ AM 8 : 45	症例検討会
	PM 4 : 00 ~	乳腺検査検討会、手術症例検討会

3 実習評価 (チェックリスト)**(1) 診察法**

- 適切に医療面接を行える
- 全身の診察を正確かつ要領よく行える

(2) 基本的臨床検査法

以下の検査結果について結果を解釈できる

- 血液一般と白血球百分率
- 血液凝固検査
- 血清生化学的検査
- 血液ガス検査
- 細菌塗抹、培養及び薬剤感受性試験
- 尿一般、便潜血反応

(3) 画像検査法

- 胸部・腹部の単純エックス線写真の結果を解釈できる
- 胸部・腹部のCTの結果を解釈できる
- UGI、注腸検査の結果を解釈できる

(4) 救急対処法

- バイタルサイン（意識、体温、呼吸、循環動態、尿量など）チェックができる
- 気管挿管の適応を述べることができる
- 中心静脈圧が測定できる

(5) 医療の場での人間関係

- 患者や家族との適切な人間関係をつくることができる
- 指導医及び他の医師、コメディカル・スタッフとの適切な人間関係をつくることができる

(7) 医療文書の作成

- 適切な診療録・入院診療概要約が作成できる
- 適切な症例呈示ができる